10月 行事予定と内容

1日(木)安全のお話
＊クマが出没した際の散歩時の対応や、グラウンド・鉄棒の遊び方についてのお話があります。

2日(金)親子遠足(3.4.5歳児)
＊「秋田ふるさと村」に出かけます。詳細については後日配布します。

6日(火)健康のお話
＊目の愛護デー(10日)を前に、紙芝居「すごいよ！みんなのからだのめ～」を通して、目の健康について学びます。

7日(水)おはなし会(未満児)
＊読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達にお話の世界を届けてくれます。

9日(金)身体測定
＊着脱しやすい服装で登園して下さい。測定結果は連絡帳に記載します。

14日(水)公開マラソンごっこ
＊雨天時は予備日の16日(金)に同じ日程で行います。

15日(木)幸寿苑訪問 (4・5歳児)
＊さくら組ひまわり組が訪問し、歌やゆうぎを披露して交流を楽しみます。

16日(金)保小児合同避難訓練
＊大地震を想定し、第一避難場所へ避難する訓練を行います。

19日(月)園長先生のミニミニ探検隊
＊園長先生と一緒にこの時期ならではの事について楽しく探検します。

20日(火)出前食育教室
＊秋田県栄養士会の栄養士から、野菜を食べるとどんな良い事があるのか、しょっぱいおやつはどんなものかを教えて頂きます。

21日(水)おはなし会(以上児)
＊読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達にお話の世界を届けてくれます。

22日(木)内科健診(14:15～)
＊当日、未受診のお子さんは、後日診療所でお家の方の付き添いで受診して頂くことになります。ご了承下さい。(ひまわり組は就学時健診で受けたので園では受けません)

23日(金)交通安全教室
＊簡単な標識や信号に従って正しく歩行する方法を学びます。

26日(月)プログラミング教室(10:30～ひまわり組)
＊新たにハザードを加えて目的地まで動かします。

27日(火)なるレク Jr
＊なるテックの方々が楽しいゲームやふれあい遊びを楽しませてくれます。

29日(木)誕生会
＊10月生まれの誕生者をお祝いします。参観ご希望の際は前日までお知らせ下さい。

30日(金)きら☆きらタイム
＊月に一度のお掃除タイム。お掃除をしてお部屋も心もキラキラ！

30日(金)ハロウィン(PM～ひまわり組役場訪問)
＊ひまわり組が仮装をして、いざ役場へ！「お菓子をくれるか、いたずらするか」の**緊迫した？！交渉**に臨みます。

＊毎週木曜日、カイル先生＆エルジョイ先生の英語教室があります。
＊11月14日(土)なかよし発表会
＊11月25日(水)親子食育教室(5歳児)

おひさま

なるせ保育園
R8.9.30(水)

小遠足でダム展望台と、「縄文の家」へ！
ひまわり組の特別な秋のひととき9月18日(金)

ひまわり組が、小遠足で東成瀬のダム工事現場展望台へ行ってきました。展望台では、展示されている見上げるほど大きな重機のタイヤに驚き、顔出しパネルでの記念撮影も、みんなで大盛り上がりでした。また、展望台からは工事現場で大迫力に動く大型重機をじっと見つめるなど、終始大興奮の子どもたち。帰りには、ひまわり組のお友だちのお父さんが作った「縄文の家」を見学させていただきました。中に一歩入ると、まるで大昔にタイムスリップしたかのような空間に興奮しながら、自然の素材が持つ温もりを肌で感じていました。地域のダイナミックな魅力と、素敵な手作りの優しさに触れた、特別な一日となりました。






赤い羽根共同募金のぬり絵に挑戦（４・５歳児）
ぬり絵は11月8日の社会福祉大会(ゆるるん)で展示されます

9月28日、社協職員3名の方が訪問し、紙芝居「あかいはねってなあに？」を通して、赤い羽根共同募金について伝え、子ども達をマスコットキャラクター(あいちゃんときぼう君)のぬり絵に誘ってくださいました。赤い羽根共同募金は、園の活動や読み聞かせなどにも役立てられていることを知り、共同募金が身近なところで使われていることを感じ取った子ども達でした。ドラえもんの募金箱も頂き、募金に関心を寄せる機会となりました。






笑顔がはじけた！あたたかな交流（４歳児）
昔遊びと手作りゲームで盛り上がりました！9月16日(水)

大柳地区のみんなのサロンに、さくら組が参加しました！成瀬かるたやコマ、あやとり等でおばあちゃん達と一緒に遊んだり、ボールを転がし、ゴールを目指す装置で遊んだり、みんな大興奮！ゆうぎを披露すると、たくさんの拍手をもらい、子どもたちも嬉しそうな笑顔を見せていました。世代を超えて温かい優しさに触れた、特別な一日となりました。



キラキラ輝く子どもたちの姿
要請訪問・保育参観が行われました　9月25日(金)




南教育事務所や雄勝出張所の指導主事、他地域のアドバイザー、他園の先生方、園関係者評価委員の方々をお迎えし、日頃の保育を見ていただきました。1歳児の「新聞遊び」では、破ったりちぎったり丸めたりして五感で楽しみ、お部屋中に弾ける笑顔が広がりました。4歳児の「トンボ制作」では、秋の情景を思い浮かべながら、真剣な表情で様々な素材やハサミ、のり等の道具を使い、工夫を凝らした素敵な作品を仕上げ満足げな子ども達でした。参観された皆様からは「のびのびと主体的に楽しんでいる」と、たくさんの温かいお褒めの言葉をいただきました。今後も子どもたちの「遊びの深まり」を大切にしながら、一人ひとりの育ちに応じた日々の保育を充実させていきたいと思っております。




行事の中で見える"ひとりひとりの成長"
～ドキドキも悔しさも、すべてが未来の大きな種　～

秋の深まりとともに、園ではマラソンごっこや散歩、親子遠足、なかよし発表会など、楽しみな行事が増えてくる季節です。大勢の前に立つことにドキドキしたり、思うように体が動かず悔しい気持ちになったりと、子どもたちはさまざまな感情を経験します。けれど、その一つひとつが大切な成長の種です。友だちと力を合わせたり、最後までやりきろうとしたりする姿には、日々の積み重ねがしっかりと表れています。結果よりも、その過程で見せてくれる表情や気持ちこそ、子どもたちの大きな"できた"です。おうちでも「がんばったね」「見ていたよ」と、気持ちに寄り添う言葉をかけてあげてください。秋の空のように、子どもたちの心もぐんと広がっていきます。



昨年度の発表会の一コマ